

みんなとともに笑顔いっぱい



# みんなとともに



本校でのインフルエンザ罹患者は、今週になっては毎日5名以下で推移しています。これもひとえに保護者の皆様が、子どもの体調の変化に目を配っていただいていること、早めに通院して療養に努めていただいていること、他の子に広がらないように配慮していただいていること、のお陰だと感謝いたしております。罹患状況を勘案しながら、適宜教育活動を進めていきます。



## 「コカリナ」という楽器をいただけることになりました



1月28日（月）、黒坂音楽工房の黒坂黒太郎様と矢口周美様が、本校を訪問されました。実は、この度、「コカリナ」という“木製の楽器”を本校の子どもたち全員にいただけることになり、その打合せのための来校です。

贈呈式は、2月26日（火）に行われ、コカリナ演奏も披露していただきます。この「コカリナ」との出合いが、本校の教育活動にどんな広がりを見せてくれるのか、楽しみでもあります。

【経緯】 コカリナ奏者の黒坂黒太郎様から、「東京オリンピックの聖火が福島県庁を出発するときに、清明小学校の子どもたちにコカリナを演奏してもらいたい」という申し出がありました。しかし、話を聞いてみると、そのような確約があるわけではなく「すべてはこれから」とのことでした。ただ、子どもたち全員に「コカリナ」をいただけますし、指導もして下さるとのことですので、申し出を受けることにしました。

なお、今回いただけるコカリナは、国立競技場を造成する際に伐採された木を材料としており、相馬市の方が製作しています。オリンピックのために「伐採された木」が、「コカリナ」という楽器になってオリンピックを応援する（参画する）というところが“売り”ということになります。

【楽器紹介】コカリナは、元は「桜の木でできたオカリナ」と呼ばれ、東欧ハンガリーの露天で売られていた笛でした。1995年、黒坂黒太郎様が日本に紹介し、その後様々な改良が加えられ、今のようなコカリナが誕生しました。

笛と違い、底が閉じられ閉管になっているため、音が柔らかくなり、しかも音が管の中で回るため、材質の音がそのまま出てきます。木によってそれぞれに音色が変わるのが実に楽しい世界です。また、首に下げどこへでも持って行けることや、子どもでもすぐに音を出し、簡単な曲だったら数日でマスターすることができる手軽な楽器であることから、今、日本国内で急速に広まっています。

また、環境と音楽が結びついた今の時代に大変タイムリーな楽器でもあります。



← 黒坂音楽工房 web ページからの引用（一部改変）

## 「なわとび大会」の応援、ありがとうございます。

1月28日（月）に低学年、31日（木）に高学年のなわとび大会が行われました。

子どもたちは、授業はもちろんのこと、朝や休み時間も自主的に練習を続けてきました。なわとびは、「心肺能力」を鍛えるとともに、脳と体の動きの「巧緻性」を高めます。学年の発達段階にあった成長を遂げている様子が見ていて伝わってきました。

また、多くの保護者の皆様に応援をいただいたことにも感謝いたします。なお、延期させていただいた中学年の部は、2月6日（水）に行います。

